

自然と人間の関係、共生と分断、近代化の歴史と置き去りにされる記憶、そして仮想世界が現実を重ねる今。アーティストたちは、単純な対立を越えた複雑な世界を深くまなざし、パフォーマンスやサウンド、映像など多彩な表現を繰り返します。創造と対話が生まれるその瞬間を、ぜひご体験ください。

Programs



太平洋の島々に対する“楽園”のイメージにひそんだ“偽り”を問う躍動的なダンス・パフォーマンス、日本初上演。

Japan premiere for a vibrant dance performance addressing the deception behind the “paradise” image of Pacific Islands.

サモアなどの太平洋の島々や、オオテアロア/ニュージーランドの先住民であるマオリ等にルーツを持つメンバーで構成されたダンスカンパニーの20年ぶりとなる来日公演。太平洋の島々の楽園としてのイメージの裏にある、差別や偏見にさらされる移民コミュニティの歴史。彼らが辿った道のりを「希望と抵抗」「抑圧と受容」「抑圧と解放」「信仰と危機」を象徴する4人のダンサーたちが躍動感溢れる力強い動きで表現する。

ブラック・グレース
Black Grace
『Paradise Rumour』

9/13 Sat - 9/15 Mon, holiday
愛知県芸術劇場 小ホール
Aichi Prefectural Art Theater, Mini Theater

日本初演 Japan Premiere
ダンス Dance



詳細Webページ

拠点 タミキ・マカウラウ/オークランド
(アオテアロア/ニュージーランド)
Based in Tamaki Makaurau / Auckland, Aotearoa / New Zealand

言語: ノンバーバル 一部英語 (日本語訳配布あり)
Language: Non-verbal-Partly in English-
Japanese translation available
70min.
未就学児入場可 Preschoolers welcome

演出・振付: ニール・イレミア
Direction and Choreography: Neil Jeremia

バゼル・アッバス&ルアン・アブ＝ラーメ、
バラリ、ハイカル、ジュルムッド

Basel Abbas and Ruanne Abou-Rahme
with Baraari, Haykal and Julmud

タイトル未定
Untitled (working title)

9/13 Sat - 9/14 Sun
Live & Lounge Vio・CLUB MAGO

世界初演・新作 World Premiere, New Commission
インスタレーション Installation
クラブイベント Night club event 音楽 Music



詳細Webページ

パレスチナの“現在”を体感する新作ライブパフォーマンス。
Encounter the Present of Palestine — A New Live Performance

バゼル・アッバス&ルアン・アブ＝ラーメが、消し去られ続ける危機にあるパレスチナの風景を今年新たに撮影し、構成する新作パフォーマンス・インスタレーション。名古屋のクラブ空間で、没入型インスタレーションとパレスチナから招へいるバラリ、ハイカル、ジュルムッドの3名のミュージシャンによるライブ・パフォーマンスが重なり合う。映像の断片から語られるのは、断絶された土地・コミュニティ・歴史との再接続の試み。そして土地とともに生き、とどまり続けるという確かな意思。忘却に抗うパレスチナの現在に立ち会う。

※ Live & Lounge Vio では上記作品の上演 (20:30-22:00頃)、隣接するCLUB MAGO ではゲストアーティストによるDJや生演奏を行います (18:00-24:00)。
本作品チケットで両会場に入場できます。

※ バゼル・アッバス&ルアン・アブ＝ラーメは現代美術館にも参加します。(展示会場: 愛知芸術文化センター)



Photo: Museum of Modern Art, New York, Photo: Juliette Camarillo

拠点 ニューヨーク(米国)、ラマッラ(パレスチナ)
Based in New York, USA and Ramallah, Palestine.

90-120min. (予定)
18歳未満の方は23:00まで Minors allowed until 11:00 PM

パフォーマンス: バゼル・アッバス&ルアン・アブ＝ラーメ、
バラリ、ハイカル、ジュルムッド

*他、ゲストアーティストあり (Webサイトで追加発表)
Performance: Basel Abbas and Ruanne Abou-Rahme,
Baraari, Haykal and Julmud

* With guest artists performing in CLUB MAGO



Photo: Toshihiro Yamaoka, Image: Mutsaers Theater

態変 TAIHEN
ブレイン
『BRAIN』

9/26 Fri - 9/28 Sun
愛知県芸術劇場 小ホール
Aichi Prefectural Art Theater, Mini Theater

世界初演・新作 World Premiere, New Commission
ダンス Dance



詳細Webページ

脳、身体、人工知能の関係から生命の尊厳について問う。
態変42年におよぶ身体的探究から生まれる最新作。

Issues relating to the brain, body, and artificial intelligence raise questions about the dignity of humanity.
This latest work by TAIHEN is a product of the group's exploration of the human body spanning forty-two years.

金満里率いる態変の表現は、地面に這いつくばる圧倒的な存在感の身体によって、観る者の美意識や価値観を強く揺さぶる。今回のテーマは「脳」。人工知能 (AI) が我々の生活の隅々まで影響を及ぼしつつある近年に応答し、脳による制御から外れる彼らの身体で、脳と身体のねじれた関係を考察する。コラボレーターには、メディア技術を用いた作品を制作するシステム・アーキテクトとして時里充を迎える。現代において、いかに私たちの存在 (生命) への尊厳は保たれるのか―態変が社会に問う挑戦的新作。

拠点 大阪府
Based in Osaka, Japan.

言語: ノンバーバル Language: Non-verbal
80min. (予定)
未就学児入場可 Preschoolers welcome

作・演出: 金満里
システムアーキテクト: 時里充
Playwright & Direction: Kim Manri
System Architect: Tokisato Mitsuru



©Yumiko Doi

マユンキキ+ Mayunkiki+
『クシテ』 kuste

10/3 Fri - 10/5 Sun
瀬戸蔵つばきホール
Setogura Tsubaki Hall

世界初演・新作 World Premiere, New Commission
パフォーマンス Performance 音楽 Music



詳細Webページ

拠点を定めずに活動 Works nomadically

言語: アイヌ語、日本語 Language: Ainu language, Japanese
80min. (予定)
未就学児入場可 Preschoolers welcome

アペトウンベ (レクガ、マユンキキ) apetunpe (Rekko, Mayunkiki)
西瓜兄妹 SUIKA KEIMA! (Hirose Tact, Mayunkiki)
hoshifune (Koyano Tetsuro, Watanabe Naoka)
Matchume Zango (小笠野哲郎、わたなべなおか) Matchume Zango
佐藤直子 Sato Naoko
WHITELIGHT WHITELIGHT
山田大輝 (あやめ文技研) Yamada Hiroki (ayamelab)

※ マユンキキは現代美術館にも参加します。(展示会場: 愛知芸術文化センター)



Photo: Naomura Museum of Modern Art, Katsushika

クォン・ビョンジュン
Kwon Byungjun

『ゆっくり話して、
そうすれば歌になるよ』
Speak Slowly and It Will Become a Song

9/13 Sat - 9/21 Sun
10/25 Sat - 11/9 Sun
*10/27 Mon, 11/4 Tue 休館 venue closed

愛知県陶磁美術館 芝生広場
Aichi Prefectural Ceramic Museum, Lawn Square



詳細Webページ

世界初演・新作 World Premiere, New Commission

サウンド・インスタレーション Sound Installation 音楽 Music

オル太 OLTA
エターナル・レイバー
『Eternal Labor』

10/10 Fri - 10/19 Sun
*10/14 Tue: 休演 No performance

愛知県芸術劇場 小ホール
Aichi Prefectural Art Theater, Mini Theater

世界初演・新作 World Premiere, New Commission
演劇 Theater インスタレーション Installation



詳細Webページ



©OLTA

「虫みたいだね。うん。私たち虫だよ。労働者は虫なの。
そう言って虫になっちゃおう。」

"It's like we're bugs. That's right. We are. Laborers are bugs. Once you say it, it becomes real."
OLTA's latest work dives deep into the ideological currents that flow from modernity to the present.

『Eternal Labor』は、世界の負の遺産をたどった『GHOST OF MODERN』(2013)以降、オル太が継続して探求してきた近代から現代へつながるイデオロギーの問いを深める最新作。日本列島から朝鮮半島にいたるリサーチを経て、大日本帝国時代と現代の分断・連続性、経済発展の裏で行われた搾取と労働を、現代女性の身体と重ねながら描き出す。見世物化された女性、妊娠できる身体、性差別と権力構造など社会に潜む問題を軸に、展示と公演の両面を通して、オル太ならではの時空を越える重層的な視点とユーモアで、無意味な労働や消費的な生の根拠に迫る。

※ 公演期間中、同会場にて公演に連動した展示を公開します。
展示は現代美術館チケット、オル太公演チケット(どの日程でも可)で入場できます。

拠点 東京都 Based in Tokyo, Japan

言語: 日本語(英語字幕あり) Language: Japanese-with English Subtitles
70min.
未就学児はリラックス・パフォーマンス時のみ入場可
※ 展示は未就学児入場可。 Preschoolers only at Relaxed Performances

脚本: メグ忍者
演出: Jang-Chi
出演: 井上徹、斉藤隆文、メグ忍者 他
舞台設計: 長谷川義朗
Text: Meguninja
Direction: Jang-Chi
Performers: Inoue Toru, Saito Takafumi, Meguninja, and others.
Stage Design: Hasegawa Yoshiro
協力: 株式会社 precog

セルマ & ソフィアン・ウィスイ
Selma & Sofiane Ouissi

『Bird』

11/14 Fri - 11/16 Sun
愛知県芸術劇場 小ホール
Aichi Prefectural Art Theater, Mini Theater

日本初演 Japan Premiere
ダンス Dance



詳細Webページ



Photo: Piri Gulliard

この世界で、人と動物は共に生きていけるのだろうか。
予測不可能な出来事、沈黙、呼吸やまなざしによる場と人の共演がはじまる。

Can Humans and other creatures live together in today's world?
A dance with a dove is the beginning of a performance played out through unforeseeable events, silences, breaths, and shared gazes.

廃墟となった元映画館を棲み処とする場との出会いから着想を得た本作。舞台上では、ダンサーと鳩が共演者として、互いの存在を尊重しながら身体による予測不能な対話を紡ぐ。その詩的で繊細な表現は、世界各地で「共に生きること」の本質を問い直し続ける。振付や映像、インスタレーションなど多様な方法で身体や記憶、社会的関係性をテーマにした作品を発表する兄妹ユニットが、人間中心の視点を超え、偶発的で不確かな存在との新たな関係を切り開く。

※ 本作業は現代美術館にも参加します。(展示会場: 瀬戸市新世紀工芸館)
※ 動物(鳩)が出演する作品です。

拠点 セルマ・ウィスイ: チュニス(チュニジア)、パリ(フランス)
ソフィアン・ウィスイ: チュニス(チュニジア)
Selma Ouissi, based in Tunis, Tunisia and Paris, France.
Sofiane Ouissi, based in Tunis, Tunisia.

言語: ノンバーバル Language: Non-verbal
50min.
未就学児入場可 Preschoolers welcome

演出: セルマ&ソフィアン・ウィスイ
出演: ソフィアン・ウィスイ、ジヘッド・クミリ、鳩
Artistic direction: Selma & Sofiane Ouissi
Performance: Sofiane Ouissi, Jihed Khmiri, pigeons

後援: 駐日チュニジア共和国大使館

自然と人、過去から今、そして瀬戸の風土や生活の営みを
感じさせる回遊型サウンド・スカルプチャー。

A wandering sound sculpture giving a sense of nature and humanity,
from past to present, and of the climate, environment and life in Seto.

瀬戸の土、水、火、植生、まちや人々から採集した音で構成する仮想世界が、愛知県陶磁美術館の広大な芝生広場の自然風景に重なり、ヘッドフォンを着用すると音の野外彫刻が立ち上がる。精密なGPSと立体音響技術により、現実と仮想の境界が揺らぐ特別な体験。

拠点 ソウル(韓国) Based in Seoul, Korea.

言語: 日本語、韓国語、英語 Language: Japanese, Korean and English
未就学児入場可 Preschoolers welcome

演出: クォン・ビョンジュン
音響、アシスタント: ユン・スヒ
ボイスパフォーマンス: 金仁漢(キム・インソク)、ジョン・フランシス・キンズラー、
ナンシー・エリザベス・キム
Director: Kwon Byungjun
Sound design, assistance: Yoon Suhe
Voice performer: KIM Insook, John-Francis Kinsler, Nancy Elizabeth Kim

AKNプロジェクト AKN PROJECT
喜劇『人類館』
Human Pavilion - A Comedy

11/22 Sat - 11/24 Mon, holiday
愛知県芸術劇場 小ホール
Aichi Prefectural Art Theater, Mini Theater

新演出 Newly Directed Version 演劇 Theater



詳細Webページ

拠点 沖縄県 Based in Okinawa, Japan

言語: 沖縄口、沖縄大和口 (英語字幕あり)
Language: Okinawan and Okinawan Japanese with English subtitles
110min. (予定)
未就学児入場不可 No admission for preschoolers



Photo: AKN PROJECT

「彼らはなにゆえに差別されるのでありましょうか」
沖縄を描く記念碑的傑作に、次世代作家たちが新演出で挑む。

"What are they discriminated against?"
A landmark play of Okinawa, newly directed by a new generation of creators.

今も沖縄に多大な影響を残している劇作家・知念正真の代表作『人類館』(初演1976年/岸田戯曲賞受賞)は、1903年の「人類館事件」を起点に、皇民化教育、沖縄戦、米軍統治とベトナム戦争、1972年の本土「復帰」を織り込み、沖縄を巡る歴史を白昼夢のような手法で示した記念碑的傑作である。

本作では、娘の知念あかねが2020年に立ち上げたAKNプロジェクトにより、3度目のリ・クリエーションに挑戦。共同演出には沖縄から新進気鋭の新里七奈、舞台美術に佐々木文美、ドラマトゥルクに林立騎を迎え、戯曲を「喜劇」として捉え直すことで、強さと弱さ、無関心と苦しみ、ゲートの内と外、国家の中心と周縁といった現在に至るまで続く関係の反転を試みる。

作: 知念正真
演出: 知念あかね、新里七奈
ドラマトゥルク: 林立騎
舞台美術: 佐々木文美
衣裳: 轟谷香子
出演: 井上あすか、神田真、仲嶺雄作
Playwright: Chinen Seishin
Direction: Chinen Akane, Arakaki Nana
Dramaturge: Hayashi Tatsuki
Set Design: Sasaki Ayami
Costume Design: Fujitani Kyoko
Cast: Inoue Asuka, Kamida Sei, Nakamine Yusaku

共同製作: 那覇文化芸術劇場なはーと、
国際芸術祭「あいち」組織委員会
企画制作: 那覇文化芸術劇場なはーと、AKNプロジェクト、
国際芸術祭「あいち」組織委員会

フォスタン・リニエクラ
Faustin Linyekula

『My body, my archive』

11/28 Fri - 11/30 Sun
愛知県芸術劇場 小ホール
Aichi Prefectural Art Theater, Mini Theater

日本初演 Japan Premiere ダンス Dance



詳細Webページ



Photo: Studio Miroslaw

歴史のかたから響く、身体に刻まれた記憶が立ち上がる。
ダンスによるストーリー・テリング。

Memories etched into the body arise,
resounding from far away, beyond history. Storytelling through dance.

「身体」を生きたアーカイブと捉え、歴史の暴力性とそれが個人や共同体の記憶に与える影響を問いかけるコンゴ民主共和国出身の振付家・演出家・ダンサー。かつてコンゴの人々が、自らの生活の記憶を託した仮面や彫刻、歌、物語は植民地主義とともに破壊、あるいは散逸していった。本作では征服者によって築かれた記録に抵抗し、断片化された歴史と記憶を繋ぎ直すことで、アーカイブの再構築を試みる。サン・ラ・アーケストラのメンバーでもあるヘル・シャバカ=ラのトランペットが、身体に刻まれた記憶を呼び覚まし、過去の傷跡、歴史の重み、そして未来の兆しを浮かび上げさせる。

拠点 キサンガニ(コンゴ民主共和国)
Based in Kisangani, Democratic Republic of the Congo

言語: 英語 (日本語字幕あり)
Language: English with Japanese subtitles
65min.
未就学児入場可 Preschoolers welcome

振付・ダンス: フォスタン・リニエクラ
音楽(トランペット): ヘル・シャバカ=ラ
彫刻: クババ
Choreography, dance: Faustin Linyekula
Music (trumpet): Heru Shabaka-Ra
Sculptures: Gbaga